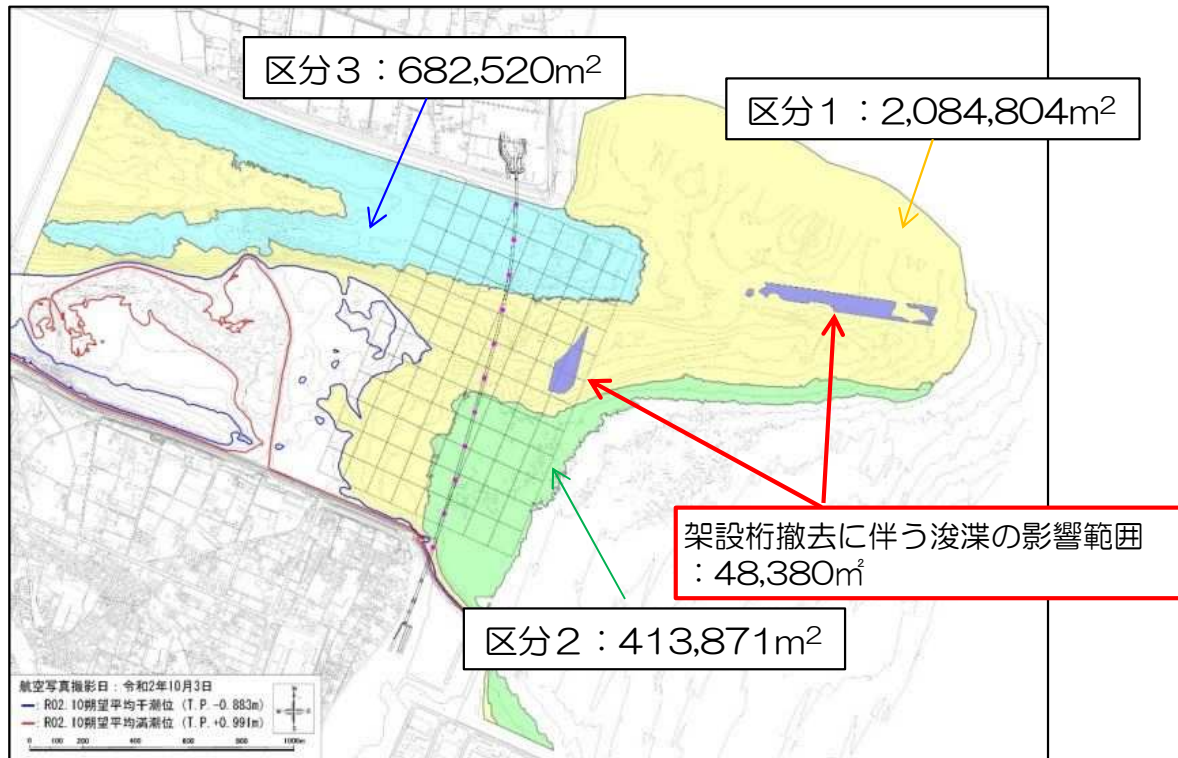


■ 架設桁の撤去に伴う浚渫の影響評価 ～架設桁撤去に伴う浚渫範囲の確認と影響評価～



R2.10までのデータを用いた予測段階での架設桁の撤去に伴う浚渫範囲は**48,380m²**となり、影響を及ぼすのは区分1に対してのみである。また、その**影響値は2.3%**であり、過去の検討結果よりも小さいことを確認した。

■ 架設桁撤去に伴う浚渫範囲とハビタット区分の面積



区分	ハビタット面積	洗堀面積	割合
	m ²	m ²	%
区分1	2,084,804	48,380	2.3
区分2	413,871	0	0
区分3	682,520	0	0

これはあくまでも設定したハビタット区分に対するものであり、生物の生息範囲に対する浚渫の影響範囲ではない。

底生動物の生息評価モデルを用いて生息可能範囲を予測し、その範囲に対して浚渫の影響範囲がどの程度の影響になるか予測（定量評価）。

浚渫範囲が被っている**区分1**の指標種について影響評価を行う。

区分	選択した指標種	生息評価モデル
区分1	3種：ツグハガイ、バガイ、ヒサソリビ科	地盤高のみ